

COMPANY REPORT

証券コード：8051

第66期 中間報告書

2011年4月1日から2011年9月30日まで



株式会社 山善

今後の見通しにつきましては、中国での金融引き締めや長引く円高の影響など、引き続き厳しい状況が続くものと思われま。そうした状況下、当社グループは海外対応力の強化を含む生産財事業のさらなる基盤の充実と消費財事業の一層の拡充を図ってまいります。

通期の連結業績予想につきましては、売上高358,000百万円、営業利益9,300百万円、経常利益9,800百万円、当期純利益5,700百万円を見込んでおります。

今後とも、より一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、株主の皆様のますますのご健勝とご発展を心よりご祈念申し上げます。

2011年12月



代表取締役社長 若居 亨

経常利益

(百万円)



当期(四半期)純利益

(百万円)



海外対応力強化とさらなる基盤の充実を図ってまいります。

株主の皆様には日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、当社第66期（2011年4月1日から2012年3月31日まで）の第2四半期決算を行いましたので、ご報告申し上げます。

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、好調な海外需要により景況は回復の兆しを見せていましたが、震災後の自動車関連での減産や、欧州での金融不安による円高の長期化など、先行きに不透明感が強まりました。

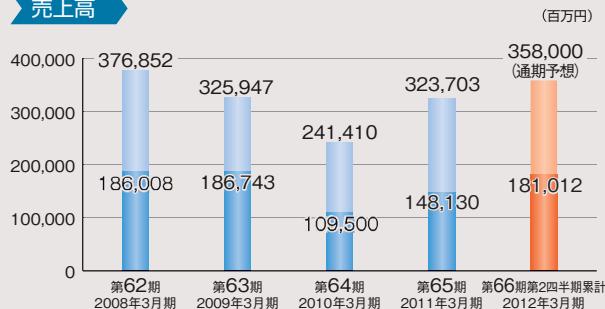
当社グループを取り巻く事業環境においては、国内生産財分野で自動車減産の影響などもありましたが、依然として海外での高い設備投資需要により、緩やかながらも総じて回復基調で推移しました。消費財分野においては、電力不足の影響でエコキュートなどのオール電化関連商材に

とっては厳しい環境となりましたが、その一方で節電意識の高まりによる省エネ関連商材の旺盛な需要に支えられて消費財全体の業績は大きく伸長しました。

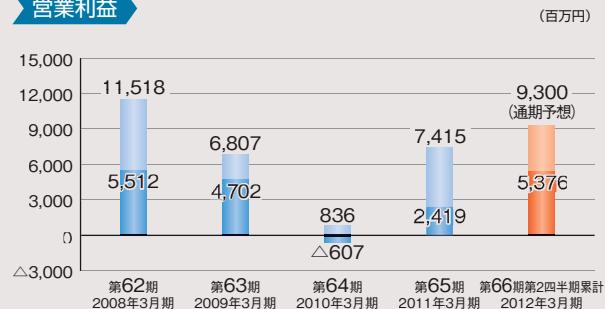
このような情勢下、当社グループは前期よりスタートした中期経営計画『MISTA-3S』の方針に基づき、国内流通の強化や海外ネットワークの更なる拡張など、企業価値の一層の向上に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の連結売上高は、181,012百万円（前年同期比22.2%増）となりました。利益面につきましては、販売費及び一般管理費で変動費が売上拡大に伴い増加しましたが、固定費を微増に抑えた結果、営業利益は5,376百万円（同、122.2%増）、経常利益は5,575百万円（同、131.9%増）、四半期純利益は3,309百万円（同、109.3%増）となりました。

売上高



営業利益



四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当第2四半期末 (2011年9月30日現在)	前期末 (2011年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	127,184	123,648
現金及び預金	22,698	20,114
受取手形及び売掛金	81,418	83,190
有価証券	2,000	4,000
商品及び製品	18,223	12,631
繰延税金資産	1,280	1,342
その他	2,336	3,159
貸倒引当金	△773	△790
固定資産	21,380	22,112
有形固定資産	12,481	12,006
建物及び構築物	3,782	3,806
機械装置及び運搬具	107	99
工具、器具及び備品	152	120
土地	8,334	7,861
その他	104	118
無形固定資産	1,194	1,155
投資その他の資産	7,705	8,950
投資有価証券	5,003	6,170
長期貸付金	44	7
破産更生債権等	283	312
前払年金費用	1,034	1,259
繰延税金資産	112	26
その他	1,651	1,655
貸倒引当金	△425	△481
資産合計	148,565	145,760

科目	当第2四半期末 (2011年9月30日現在)	前期末 (2011年3月31日現在)
負債の部		
流動負債	105,819	104,292
支払手形及び買掛金	88,003	84,966
短期借入金	6,686	7,666
未払法人税等	2,079	2,440
賞与引当金	2,023	1,967
商品自主回収関連費用引当金	293	484
その他	6,734	6,767
固定負債	1,740	1,746
長期借入金	379	—
引当金	59	24
繰延税金負債	35	451
その他	1,265	1,270
負債合計	107,560	106,038
純資産の部		
株主資本	44,117	41,361
資本金	7,909	7,909
資本剰余金	6,081	6,081
利益剰余金	30,142	27,386
自己株式	△16	△16
その他の包括利益累計額	△3,151	△1,639
その他有価証券評価差額金	203	746
繰延ヘッジ損益	△91	16
為替換算調整勘定	△3,263	△2,402
少数株主持分	38	—
純資産合計	41,005	39,721
負債・純資産合計	148,565	145,760

部門別の概況

生産財関連ビジネス

◆ 国内生産財部門

工作機械部門では、主要ユーザーである自動車関連産業における震災後の減産が大きく影響しましたが、IT、半導体などの輸出関連産業の需要が下支えして緩やかながら回復基調を維持しました。その結果、工作機械部門の売上高は22,402百万円(前年同期比28.3%増)となりました。

また、工作機械以外の国内生産財部門でも、一部自動車関連などの需要減少がありましたが、災害復旧・復興活動に係る代替需要や、工場内節電対策としての発電機や省エネ機器の需要が底堅く推移したほか、早期復旧に伴う生産回復で環境関連機器やマテハン、メカトロ関連商品も増加しました。その結果、売上高は52,598百万円(同、13.1%増)となりました。国内生産財部門全体では売上高は75,000百万円(同、17.3%増)となりました。

◆ 国際営業部門

震災の影響を受けた自動車関連では需要が大きく減少、また中国での金融引き締めの影響など一部ではこれまでの成長率を押し下げる要因もありましたが、アセアン地域での継続的成長や、米国の航空機産業や医療機器関連は回復基調となっており、全体では依然好調な海外需要に牽引され引き続き好調を維持しました。その結果、売上高は39,704百万円(前年同期比29.6%増)となりました。

消費財関連ビジネス

◆ 住設建材部門

住設建材部門は震災後、部材供給不足による新設住宅の着工・竣工遅れの影響や、原発事故に端を発する電力不足問題が、主力のエコキュートやIH調理器具等、オール電化機器の普及に逆風となるなど、総じて厳しい市場環境となりました。その結果、売上高は24,763百万円(前年同期比2.4%増)となりました。

◆ 家庭機器部門

地デジチューナーや火災報知機など時節に応じた商材が好調だったほか、被災地での復興支援商材や電力不足を背景にした扇風機などの節電関連商材が大きく伸びました。その結果、売上高は38,596百万円(前年同期比40.2%増)となりました。



四半期連結損益計算書

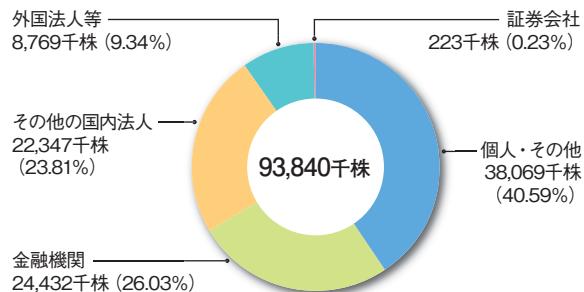
(単位：百万円)

科目	当第2四半期(累計) (2011年4月1日から 2011年9月30日まで)	前第2四半期(累計) (2010年4月1日から 2010年9月30日まで)
売上高	181,012	148,130
売上原価	157,522	129,854
売上総利益	23,489	18,275
販売費及び一般管理費	18,113	15,855
営業利益	5,376	2,419
営業外収益	949	797
受取利息	667	615
受取配当金	57	46
デリバティブ評価益	68	—
その他	155	135
営業外費用	749	813
支払利息	713	567
手形売却損	1	1
デリバティブ評価損	—	227
その他	34	16
経常利益	5,575	2,404
特別利益	0	1
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	—	1
特別損失	94	84
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	2	0
減損損失	22	—
投資有価証券評価損	69	0
事業整理損	—	70
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	13
その他	0	—
税金等調整前四半期純利益	5,482	2,321
法人税、住民税及び事業税	2,181	1,075
法人税等調整額	△18	△335
法人税等合計	2,162	740
少数株主損益調整前四半期純利益	3,319	1,581
少数株主利益	9	—
四半期純利益	3,309	1,581

株式の状況

発行可能株式総数	200,000,000株
発行済株式の総数	93,840,310株
株主数	6,265名

所有者別株式分布状況



大株主の状況

株主名	持株数	持株比率
山善取引先持株会	7,947 (千株)	8.46 (%)
東京山善取引先持株会	6,162	6.56
株式会社森精機製作所	3,542	3.77
山善社員投資会	3,421	3.64
株式会社みずほコーポレート銀行	3,272	3.48
株式会社りそな銀行	3,067	3.26
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,607	2.77
名古屋山善取引先持株会	2,436	2.59
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,158	2.29
九州山善取引先持株会	1,470	1.56

会社概要

商号	株式会社 山 善
設立	1947年(昭和22年)5月30日
資本金	7,909百万円
本社所在地	
大阪本社	〒550-8660 大阪市西区立売堀2-3-16
東京本社	〒216-8505 神奈川県川崎市宮前区宮崎156
主要取引銀行	みずほコーポレート銀行・りそな銀行・三井住友銀行・三菱東京UFJ銀行・みずほ信託銀行
従業員数	2,315名(連結)
建設業許可	国土交通大臣許可(特・般-21)第23080号

取締役及び監査役

代表取締役社長	吉 居 亨	最高経営責任者 (CEO)
代表取締役副社長	緒 方 文 由	最高執行責任者 (COO)
専務取締役 上席執行役員	笠 原 貞 治	東日本営業本部長
専務取締役 上席執行役員	山 本 政 美	国際本部長
専務取締役 上席執行役員	清 木 勝 彦	IT統轄責任者 (CIO) 経営企画本部長
常務取締役 上席執行役員	中 田 繞	機工事業部長 兼 工具統括部長 兼 マーケティング統括部長
取締役 上席執行役員	寺 坂 充 生	大阪営業本部長
取締役 上席執行役員	掛 川 隆 司	最高財務責任者 (CFO) 管理本部長
取締役 上席執行役員	佐々井 昭 三	東日本営業本部副本部長 (北関東・東北担当)
取締役 上席執行役員	雷 陽 次	住設建材統括部長
常勤監査役	岩 口 勇	
監査役	木 村 育 英	
監査役(社外)	阪 口 誠	
監査役(社外)	吉 村 勲	

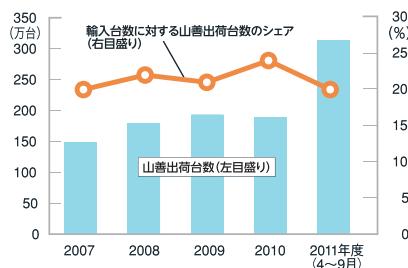
節電の夏 扇風機で注目を浴びた



YAMAZENブランドの扇風機に各メディアから熱い視線が注がれました。4月から9月末までの雑誌・新聞掲載本数は14本、テレビでも6番組で紹介されました。

YAMAZENブランドの扇風機は、出荷台数は前期で約190万台。節電志向の高まりから、2012年3月期は9月末現在で約300万台と、業界トップクラスです。時代を超えて愛されるスタンダードな商品を真面目に作り続け、熱心に売るといった商売の基本に徹した結果かもしれません。

扇風機輸入台数(財務省貿易統計)に対する山善出荷台数のシェア



扇風機取材一覧【テレビ】

2011年9月30日現在

媒体名	放送日
せやねん! (毎日放送)	2011/5/14
ワールドビジネスサテライト(テレビ東京)	2011/5/24
グローバルナビフロント(TBS)	2011/5/28
Bizスポ(NHK)	2011/7/5
スーパーJチャンネル(テレビ朝日)	2011/8/19
ちちんぷいぷい(毎日放送)	2011/9/12

扇風機取材一覧【新聞・雑誌】

2011年9月30日現在

媒体名	掲載日	媒体名	掲載日
日経産業新聞7面	2011/4/8	週刊プレイボーイ2011/6/27号	2011/6/13
読売新聞(大阪)8面	2011/4/19	DIME2011.NO.13	2011/6/21
株式新聞1面	2011/5/27	東京スポーツ	2011/6/23
日本経済新聞夕刊1面	2011/6/3	saita2011.8月号	2011/7/7
家電批評2011.7月号	2011/6/3	朝日新聞夕刊11面	2011/7/7
日本経済新聞(日経プラスワン)1面	2011/6/4	毎日新聞夕刊1面	2011/7/8
株式新聞3面	2011/6/7	朝日新聞(be)2面	2011/7/16

著作権処理等の関係により
ご提供できません

PICK UP
おすすめアイテム

こたつで節電暖房

YAMAZEN

ダイニングこたつSDKシリーズ

暖房器具（家具）として定番のこたつ。生活スタイルの変化や家屋の洋式化によって、デザインや形状も年々変化を遂げている中、近年注目を集めているのがダイニングこたつです。椅子に座ってこたつに入ることができるので、立つ時、座る時、足や腰に負担が少なく、体に優しいのも人気のポイント。今年発売のSDKシリーズは、春・夏のシーズンオフにもダイニングテーブルとして使いやすいよう、家具調のデザインを特に重視した商品です。



秋・冬
こたつとして

春・夏
ダイニング
テーブルとして

商品の詳細・購入は「くらしのeショップ」へ
<http://www.rakuten.co.jp/e-kurashi/>

※写真は椅子(SWH-99AT)とのセット商品です。

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
 剰余金の配当基準日 3月31日（中間配当を行う場合は9月30日）
 定時株主総会 6月下旬
 単元株式数 100株
 上場証券取引所 株式会社東京証券取引所 市場第1部
 株式会社大阪証券取引所 市場第1部
 公告方法 電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。
 ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
 みずほ信託銀行株式会社

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		☎0120-288-324
お取扱店	みずほ信託銀行 全国本支店 みずほインバスターズ証券 全国本支店	
未払配当金のみ、みずほ銀行 全国本支店でもお取扱いいたします。		
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先までご連絡ください。	単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。



株式会社 山善

URL <http://www.yamazen.co.jp>

